



グリーン・ジャパン:若者たちと共に創り上げる未来

2022年10月



Young Professionals in Foreign Policy (YFPF) 東京 主催・企画

パートナー組織



United Nations International Federation of Youth for Climate and Water (UNIFY)

YOUNGO (Children and Youth Constituency to UNFCCC)

この度、[Young Professionals in Foreign Policy 東京\(外交政策の若手プロフェッショナル東京支部、YFPF東京\)](#)は、国連の正式な承認のもと、COP27に向けた日本における[Local Conference of Youth\(LCOY\)](#)を企画し開催いたします。私たちのLCOYの目的は、若者やあらゆる年齢のコミュニティが、専門家、若手チェンジメーカー、ステークホルダーと関わるためのプラットフォームとなることです。参加者とパートナーは、ベストプラクティスや新しい取り組みを紹介し、気候変動とSDGsのための持続的、包括的、かつ地域化された行動指針を確立することができます。LCOY開催後は、日本国内において、変革のためのパートナーシップ、知識の共有、集団的なアクションを起こす機会を提供したいと考えております。

国連Climate Change Conference of Youth (COY) は、[気候変動に関する国際連合枠組条約\(UNFCCC\)](#)の正式な若者団体であるYOUNGOのもとで開催される会議です。この会議は、11月6日から18日までエジプトのシャルム・エル・シェイクで開催される年に一度の国連気候変動枠組条約締約国会議(Conference of the Parties, COP)に先立ち、貢献するものです。COYは、COPに参加する若者に準備の機会を提供する、能力開発と政策トレーニングの場としての役割を持っています<sup>1</sup>。

### YFPF東京のLCOYプログラム

YFPF東京は、2022年10月22日から30日の一週間にかけて、日本のLCOYプログラムを開催いたします。参加者はオンラインイベントやハイブリッドイベントを通して、日本の気候変動と持続可能性の問題についてより深く学ぶことができます。YFPF東京のプログラムは以下の通りです。

- テーマである「グリーン・ジャパン」のメリットや強みを伝える基調講演。
- 気候変動とSDGsに関する若者のアクションにおける主要な課題、ギャップ、今後の機会について概観するパネルディスカッション。
- 政策形成における重要な課題領域とアクションの成果に対する若者の声を届けるプラットフォーム。
- 事前登録した参加者が、知識の共有、ネットワーキング、シナリオベース体験実習に取り組むユースワークショップ。本ワークショップはCOY17とCOP27に情報を提供し、ユースステークホルダーにさらなる機会への道を提供します。

### パートナーとサイドイベントの募集

YFPF東京では、公共、民間企業、市民社会の各分野の個人や団体から、主要な知見、取り組み、専門知識を発表し、若者やコミュニティの関係者とより広く交流するためのパートナーシップ及びサイドイベントセッションの提案を募集しております。2022年10月2日までに、サイドイベント企画書と連絡先を<こちら>にお送りください。

**LCOYサイドイベント開催に関するお問い合わせ先: YFPF東京 プログラムオフィサー兼LCOY運営委員会担当者 トリスタン・ノーマン([tristan.norman@vpfp.org](mailto:tristan.norman@vpfp.org))。**

**パートナーシップに関するお問い合わせ先: YFPF東京 マネージングディレクター ローレン・パワー([lauren.power@vpfp.org](mailto:lauren.power@vpfp.org))。**

「グリーン・ジャパン:若者たちと共に創り上げる未来」について

<sup>1</sup> <https://www.lcoy.earth/about-coy>

気候危機は、現在と未来の世代が直面する最大の課題であり、私たちの社会、政治、医療、経済システムのあらゆる側面を変容させています。気候の危機を通して、回復力、適応力、若者の意思決定力に新たに焦点を当てる必要性が浮き彫りになりました。新型コロナパンデミック発生当初の衝撃は、日本や世界の多国間機関、マルチステークホルダーモデル、そして長期思考能力の強靱性と回復力を測るリトマス紙のような役割を果たしました。最近の指標によると、アジア太平洋地域は2030年のSDGs目標の達成に2065年までかかる可能性があり、地域全体における協調的な気候変動対策（SDG13）の達成度は大きく後退しています<sup>2</sup>。このような課題の中、私たち全員が望み、必要とする未来を創り上げていく際に、若者の意見を取り入れ、若者が主体性を発揮できる機会は多くあります。

2022年11月にエジプトのシャルム・エル・シェイクで開催されるCOP27とCOY17に向けて、2015年のパリ協定と2030年の持続可能な開発目標の両方の目標を達成するためには、持続的で協調的、かつ大胆な行動を取り入れることがこれまで以上に必要とされています。グラスゴーで開催されたCOP26では、ネットゼロカーボンの約束と大胆な気候変動対策に関する誓約において大きな進展がありました。これらのギャップを埋めるためには、今まで以上の協調が必要です。誰一人取り残さない、より良い再建のためには、さらに統合的、包括的、そして活性化を目指すアプローチが必要です。この点に関して、日本における活性化したエココミュニティやサステナビリティ・スタートアップ、自治体の脱炭素化計画、民間のESG市場の成長などの取り組みは、持続可能性とネットゼロカーボン目標において説得力のあるモデルとなっています。日本では、すべてのステークホルダー、特に若者の生活の質を向上させるための社会全体への取り組みが勢いづいています。

7月20日から21日にかけて東京で開催された「第3回パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国連国際会議」での結論は、日本および世界におけるさらなる能力開発、変革をもたらすセクター横断的パートナーシップ、包括的な政策決定への統合的アプローチの必要性を強調するものであった<sup>3</sup>。しかし、これらを達成するにあたっての若者の役割については、依然として明確には述べられていません。活性化されたアクションとは、包括的で弾力性があり、体系的で地域に根ざし、かつ若者に焦点を当てたものであるべきです。さらには、気候変動対策における進展とSDGsと若者が抱く未来への夢を結びつける、ダイナミックで総括的なものでなければなりません。日本の若者やチェンジメーカーは、これらの大胆な目標を日本全国の市町村や都道府県における地域に根ざした包括的な行動へと導くことにおいて不可欠です。今こそ、若者の主体性と行動力が必要なのです。

**YPFP東京**の2022年Japan LCOYは、気候変動とSDGsに関する持続的な発案プロセス、対話や行動をつなげる場を提供することを目的とし、以下の目標と成果を目指しています。

1. 主要なステークホルダーやパートナーからの資料を用いて、気候変動対策に関心を持つ日本の若者のためのナレッジ共有ツールキットを作成し、そのためのインプットを提供する。
2. 日本のユース団体間におけるピアツーピア (peer-to-peer) のネットワーキングと交流のための基盤を提供し、対話や共有の目標、ビジョンの協調を促進する。
3. 日本における気候変動と持続可能な開発目標に関する若者の意思決定と行動のための活動中心を設立する。
4. セクター横断的な対話、変革をもたらすパートナーシップ、相互協力のために人々がつながれる空間の形成を促進する。
5. 日本における気候危機と持続可能な開発をめぐる重要課題についての若者やコミュニティの意見を収集する。
6. 若手チェンジメーカーとコミュニティにSDGsと気候問題に関するより良い情報を提供するために、公共、民間企業、市民セクターにおけるベストプラクティス、ガイドラインや考え方を紹介する。
7. G7、G20、ECOSOCユースフォーラム、COP、COYなど、気候変動問題や国際的なプロセスに日本の若者がより参画できるためのメカニズムやプラットフォームを提供すること。

<sup>2</sup> <https://www.unescap.org/kp/2022/asia-and-pacific-sdg-progress-report-2022>

<sup>3</sup> <https://www.un.org/en/climate-sdgs-conference-2022>

8. COY、YOUNGO、その他の関連機関へのインプット資料として送付するための、正式な政策文書と提言を作成する。

私たちと一緒に若者のさらなるエンパワーメントを目指し、日本と国際社会のより持続可能な未来のために、皆様のご参加を心待ちにしております。

敬具

マネージングディレクター

YPFP東京

ローレン・パワー

[lauren.power@ypfp.org](mailto:lauren.power@ypfp.org)

プログラムオフィサー兼LCOY運営委員会担当者

YPFP東京

トリストラン・ノーマン

[tristan.normal@ypfp.org](mailto:tristan.normal@ypfp.org)



YPFP東京の詳細や入会方法につきましては、[ウェブサイト](#)をご覧ください。メンバーシップディレクターの青馨(Xin Qing、キンシン)までお問い合わせください：[xin.qing@ypfp.org](mailto:xin.qing@ypfp.org)。